

Ⅲ. 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成 24 年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、24 年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・ 80 周年記念館（6 号館）建設	1,610,070 千円
・ 3 号館 3 階 J 3 3 5 実習室改修	53,892 千円
・ ホストコンピュータ更新	48,926 千円
・ 創立 80 周年記念事業	22,815 千円
・ 10 号館 2 階第 4 実験室ドラフトチャンバー設置	10,608 千円
・ アイソトープ実験施設ガンマ線測定器更新	7,207 千円
・ 入試システム開発	4,725 千円
・ エネルギー監視システム	4,620 千円
・ 在宅医療研修関係	4,177 千円

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では学部入学者が 314 名と当初の想定を上回り、手数料収入・寄付金収入・補助金収入・資産運用収入・事業収入もそれぞれ見込み額を超えたことなどにより、総収入は 6,658 百万円と予算を 525 百万円上回りました。

また、支出面では予算執行の見直しや経費節減に努める一方で、80 周年記念館（6 号館）建設費の支払いや各種引当資金への積増し等を行った結果、次年度繰越支払資金は対前年度比 227 百万円減の 870 百万円となりましたが、前受金収入 413 百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 消費収支計算書（総括表）

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金組入額 1,012 百万円を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は 68 百万円の支出超過となり、前年度からの収入超過額 672 百万円が減少し、翌年度への繰越収入超過額は 603 百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、第 2 号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では 831 百万円増加し、22,665 百万円となる一方、負債総額は借入金の返却等から 1,716 百万円と減少し、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ 944 百万円（4.7%）増の 20,949 百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成20年度～24年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・資金収支の状況
 - ・消費収支の状況
 - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録